



Handa Byouin Dayori 

# 半田病院だより



新病院建設現場全景写真(令和5年8月19日撮影)

令和7年(2025年)春の開院を目指して、半田運動公園や  
知多南部総合卸売市場に近接した丘陵地に新病院を建設しています。

半田市立半田病院 広報部会

# 看護チームの紹介

(看護補助者)

## 看護助手と看護師の協同

3A病棟 看護師 村田 有紀

看護助手とは「看護が提供される場において、看護チームの一員として看護師の指示のもと看護の専門的判断を要しない看護補助業務を行う者」と日本看護協会のガイドラインに示されており、看護補助業務とは、「傷病者若しくはじよく婦に対する療養上の世話」及び「診療の補助」に該当しない業務です。

当院では現在48名の看護助手が勤務しており、安全で質の高い看護を効果的・効率的に提供するため看護師と一緒に働いています。

当院の看護助手の取り組みとして、看護助手部会を月1回開催し、各部署のリーダーと看護師の代表が集まり日々の業務の中で生じる問題を解決したり、看護師業務とのすりあわせを行います。また、看護助手の知識と技術の維持向上のために毎月セミナーを開催しています。セミナーの内容は看護助手から学びたいと希望のあるテーマを認定看護師が行ったり、清潔ケアなど日々の業務の中で実施している技術の向上や伝達については看護助手が学習をし、講師となって実施しています。



## 半田病院の 看護助手の仕事について紹介します

看護局 看護師 安藤 多恵子

看護助手の仕事は以下のように、大きく2つに分けられます。

### 周辺業務（患者さんに接しないもの）

#### 生活環境・診療に関わる業務

- 病床周囲の整理整頓・清掃
- 病室内の環境調整
- ベッドの整備やベッドメイキングなど
- 処置や検査などの機器の準備や片付け
- 診療材料の補充や整理整頓

### 直接ケア（患者さんに直接触れるもの）

#### 日常生活に関わる業務

※看護師の指示の元で実施します

- 食事に関すること（食事介助など）
- 清潔に関すること（入浴介助など）
- 排泄に関すること（トイレ介助など）
- 移動に関すること（車椅子介助など）

仕事内容はさまざまですが、どれも看護師と連携して行う仕事です。

患者さんが安全で快適な入院生活を送れるよう環境を整え、日常生活動作を援助する看護助手は看護チームの一員です。

患者さんにとっても、回復の手助けをする看護助手は身近な存在です。看護師には言えないけど看護助手には言えるという患者さんもいます。看護師と看護助手が情報共有し、より良い看護チームをめざす、看護助手はなくてはならない仕事を担っています。



看護助手の1日をご紹介します

# だい どう みやくりゅう 大動脈瘤って何？

血管外科 医師 永田 純一

「お腹に動脈瘤があとわれました。」

「なにか症状はありますか？」

「便秘があります。」「腰痛があります。」「あしが痺れます。」

よくある光景です。

この場合、便秘や腰痛や痺れは動脈瘤の症状ではありません、偶然です。お腹の大動脈瘤は無症状です。腹痛や腰痛や痺れの検査としてCTやエコー、MRIをすると偶然見つかります。健診の検査で見つかることも。

動脈瘤は動脈が膨らんでしまったもの。形が変わっただけなので症状が無いわけです。風船が膨らむように大きくなったと思ってください。丈夫になったわけでは無く、壁は弱くなっています。風船が少し膨らんだだけなら心配ないけど、大きくなるとヒヤヒヤしますね！

「で、どうしたらいい？」「薬で小さくなる？」

「小さくしたり、大きくならなくする薬は無いんです。治療は手術ですよ。」

「(ガーン!!) …今すぐにですか？」

「いえいえ、落ち着いて検査してからで大丈夫。」

症状は無いと言いましたが、へソの上のあたりに手をあてると心臓のようにドキドキ・ドクドクしている場合は大動脈瘤が大きくなったあらわれかも。

両親や兄弟が大動脈瘤だったという人もなりやすいと言われています。

治療した方が良いかどうかは、大きさと場所によって決まります。痛い検査ではないので安心して検査を受けてください。CTで詳しく検査しましょう。



# 面会について

医療安全管理室 看護師 土川 由美子

コロナ禍の3年間、面会制限を余儀なくされ、患者さんやご家族にとっては不安や不満が多くあった事と思います。患者さんの安全を守るためにご理解を頂いてきましたが、私達職員も面会を制限しなくてはならない現状に葛藤しながら対応してきました。

令和5年5月からコロナが5類に移行し、世の中も徐々に面会制限が緩まってきました。当院でも段階的に緩和を進め、現在では完全予約制ではありますが面会が出来るようになりました。直接面会が出来ることで、患者さんの治療に対する意欲が向上したり、家族の方がうれしそうにされている姿を見て、職員も喜んでいます。

今後も、世の中の動向や近隣の医療機関との状況も踏まえながら対応していく予定です。

## 面会のルール

1 階面会受付(コンビニ前)で受付後、各病棟のスタッフに必ずお声をかけてから面会してください。

- 症状の有無に関わらず、必ず不織布マスクを着用し、備え付けの消毒液で手指衛生を行なってください。
- 面会は**完全予約制**でモバイル及び直接面会が可能です。**原則、親族のみ**とさせていただきます。**1日1回、2名まで・15分以内**とさせていただきます。  
\*ご家族さまの複数回の面会をご遠慮頂いております。
- 面会時間は**14時～16時30分**  
**荷物の受け渡しのみは14時～19時まで**
- 以下の対象の方は、面会をご遠慮頂いております。

発熱、咳、喉の痛み等の  
風邪症状のある方



中学生以下のお子様



皆様のご理解とご協力をお願い致します

# あなたの腎臓を守ります

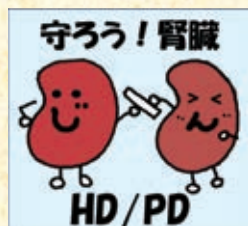
## ～腎臓シール～

薬剤科 薬剤師 古田 麻衣子

腎臓の機能が低下すると、薬によっては腎臓に負担がかかったり、腎臓から排泄されにくくなり副作用が強くなる場合があります。そのような場合には、薬による腎臓への負担や副作用防止のために、薬の量や種類を変更する必要があります。

当院では薬の適正使用に向け、対象となる方に目印として、腎臓シールをお薬手帳に貼付しています。複数の主治医、薬剤師、また患者さん自身が腎臓の状態を確認することで、薬による腎臓への負担や副作用の防止につながります。今後、半田市・半田市医師会・知多薬剤師会・当院が協力した慢性腎臓病対策を開始しております。

病院や薬局では必ずお薬手帳を見せてください。



# ご自宅に薬が残っていませんか？

薬剤科 薬剤師 河合 健

ついうっかり飲み忘れてしまった、飲み方や飲む量を間違えてしまった、調子が良くなったから飲むのを止めてしまったなどの理由で薬が残っていませんか。このように何らかの理由で患者さんの手元に残ってしまった薬を残薬と言います。厚生労働省によると、75歳以上の在宅医療患者に限っても、約500億円分もの残薬が毎年発生していると報告されています。

薬を処方されたとおりに毎日正しく服用することは簡単ではありません。もし、薬を飲み残してしまったときは、医師や薬剤師に事実として伝えましょう。薬を飲んでいないことに医師が気づかず、症状が改善しないからと新たな薬を処方してしまい、薬が増えていく悪循環に陥ることもあります。とはいえ、指示どおり飲んでいなかったことを、医師に伝えづらい方も多いと思います。そんなときには薬剤師に相談してみてもいいでしょう。薬剤師が医師との仲介役となって処方日数の調節を行います。

残薬の相談の際には、薬が大きくて飲みづらい、薬をシートから取り出しづらい、1日3回も飲むのが大変など飲み残した理由を明確に伝えることも大切です。理由によっては、薬の種類や形を変更することで解消できる場合もあります。また、薬剤師に相談していただければ、一包化やお薬カレンダーの活用など、患者さんに合わせた飲み忘れ対策の提案もできます。

残薬や薬の管理でお困りの際は、薬剤師まで気軽に相談ください。



## ふるさと納税で

# 新病院建設へのご支援をお願いします

ふるさと納税は、生まれた故郷や応援したい自治体に寄附ができる制度です。寄附者は寄附金の使い道を選択できるとともに、手続きにより所得税の還付、住民税の控除が受けられます。

半田市では、新病院建設事業へのふるさと納税による寄附を随時募集しています。新病院建設へのご支援をお願いいたします。

右記のQRコード(ふるさと納税サイト)、または半田病院管理課から寄附の申込ができます。



### 半田市にお住まいの方

ふるさと納税の寄附による税控除を受けられます。

※返礼品を受取ることはできません。

### 半田市外にお住まいの方

ふるさと納税の寄附による税控除のほか、半田市の様々な事業者からの返礼品を受取ることができます。

ふるさと納税サイト  
(ふるさとチョイス)



## + 病院だより+ 新病院コラム その 14



新病院JV

これまで土の中の工事が多かった新病院の建設工事ですが、7月から地上部の工事も始まりました。そこで今回は、今年12月までに行う主な工事について紹介します。

まずは、新病院の建物の大きな特徴である免震装置の設置工事(写真1)です。

この免震装置は、「いつ起きてもおかしくない」と言われている南海トラフ地震が発生した場合も病院の機能を維持するために当院の設計の中で開発したもので、全方向に1.6mの可動域(動かすことができる範囲)を持っています。これは国内最大、世界でもトップクラスのもので、全部で129基の免震装置を、6月26日から30日程度の作業日数をかけて設置しました。

次は鉄骨工事(写真2)です。7月19日に最初の柱を建て始めて、12月末までにはほぼすべての鉄骨を組み上げる予定で工事を進めています。鉄骨の重さは全部で約8,000t。これを体積に換算すると、小学校にある25mプール2杯分になります。これらの鉄骨を、建設会社(新半田病院JV)の方のほか、鉄工所の方や鳶さん、クレーン運転手といった職人さん達が、力を合わせて組み立てていきます。

そして、3階の床から地下1階部分は鉄骨鉄筋コンクリート造という構造になっているため、鉄骨が組み上がった部分から鉄筋工や型枠大工といった職人さんが作業を行い(写真3)、順番にコンクリートを流し込んでいきます。

こうして建物の骨組みを造った後、外壁工事や間仕切り壁などをつくる内装工事へと進んでいきます。

工事の進捗状況は、新半田病院JVのホームページ(右上のQRコード)にも掲載していますので、ぜひご覧ください。

通行車両の増加や振動、騒音、交通規制等、大変ご迷惑をおかけいたしますが、細心の注意を払って事業を進めてまいりますので、引き続きご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。



写真1 免震装置(ベニヤ板で保護している部分も装置の一部です)



写真2 免震階鉄骨工事状況



写真3 鉄骨鉄筋コンクリート工事作業状況

## 半田市立半田病院 広報部会 (事務局 管理課)

〒475-8599 愛知県半田市東洋町2丁目29番地 TEL 0569-22-9881 FAX 0569-24-3253  
Eメール byouin@city.handa.lg.jp URL https://www.handa-hosp.jp



ホームページ



YouTube